

## 平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 大

上場会社名 アクモス株式会社  
 コード番号 6888 URL <http://www.acmos.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 飯島 秀幸  
 (氏名) 中川 智章

TEL 03-5217-3121

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	1,184	△9.7	△61	—	△61	—	△60	—
24年6月期第2四半期	1,310	△17.0	△153	—	△140	—	△144	—

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 △65百万円 (—%) 24年6月期第2四半期 △147百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	△619.53	—
24年6月期第2四半期	△1,491.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第2四半期	1,959	1,440	73.5
24年6月期	2,217	1,583	68.1

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 1,440百万円 24年6月期 1,510百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	2.2	30	197.8	50	57.8	35	118.0	360.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期2Q	102,154 株	24年6月期	102,154 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

25年6月期2Q	5,159 株	24年6月期	5,159 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期2Q	96,995 株	24年6月期2Q	96,995 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日、以下「当四半期」という)におけるわが国経済は、震災復興による公共投資を背景として景気が底堅く、また年末にかけて円高の是正傾向がみられるなど、景気回復の期待が高まっておりますが、欧州各国の債務問題や中国などの新興国経済の景気減速により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要事業である情報技術事業においては、スマートフォンやタブレット関連の市場が拡大している一方で、従来のシステム開発や運用保守の分野においては、製造業の基幹システム更新や通信事業者のシステム投資などの開発案件が増えておりますが、全体的には引き続き企業のIT投資に対する慎重な姿勢が続いており、運用サービス単価の低下傾向もあり、事業環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、当連結会計年度の基本方針に基づき、「事業再構築」と「新規事業創出」の2つを中心テーマとし、事業環境の変化への適応と収益性の向上を目標に掲げ事業を進めてまいりました。当四半期の売上高は1,184百万円(前第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日、以下「前四半期」という)は売上高1,310百万円、前四半期比9.7%減)、営業損失61百万円(前四半期は営業損失153百万円)となっております。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

なお、前連結会計年度末において、報告セグメントごとの利益又は損失の金額の算定方法を変更しております。前四半期はのれん償却額を各セグメントに配分せずに、調整額としておりましたが、当四半期では各セグメントに配分しております。以下の各セグメント別の前四半期対比につきましては、前四半期の数値を組み替えて算定しております。

#### (ITソリューション事業)

ITソリューション事業(当社及びACMOSソーシングサービス(株))では、発注金額の抑制傾向が継続しており、売上高は前四半期比3.4%の減少となりました。営業利益は、節電対策シフトの影響が前四半期に比べ少なかったことや、プロジェクト単位の業務管理を強化した効果、社内人員を活用し外注を抑制したことにより、対前四半期比で111百万円損失が改善いたしました。営業活動においては、アクモス(株)のシステムインテグレーション関連製品の共通ブランドとして『SYMPROBUS(シンプロバス)』を採用し、平成24年12月25日より使用を開始いたしました。当社が前連結会計年度において、I型消防通信指令システムとして開発を行った、CTI等を活用した通信指令システム(SYMPROBUS Fシリーズ)の受注活動を引き続き推進いたしました。なお、当四半期においては、通信指令システムの受注案件について、工事進行基準による売上を13百万円計上しております。当四半期のITソリューション事業の売上高は1,096百万円(前四半期は売上高1,134百万円、前四半期比3.4%減)、営業損失39百万円(前四半期は営業損失150百万円)となっております。

#### (ITサービス事業)

ITサービス事業(株)エクスカル及び(株)ジイズスタッフの(株)ジイズスタッフでは、新規取引先の開拓は順調に進んでおりますが、新規取引は売上規模が少額な傾向にあるため、売上高は前四半期比10.9%の減少で推移いたしました。少人数体制のため、受注拡大への対応が難しかったことから、課題であった従業員の採用を行い、社内体制の強化を図っております。(株)エクスカルについては第2四半期連結会計期間の期首より連結対象から除外し、持分法適用関連会社としております。当四半期のITサービス事業の売上高は、主に(株)エクスカルが連結対象から除外された影響により134百万円と前四半期の売上高215百万円から80百万円(前四半期比37.4%減)減少しております。また営業利益では、(株)エクスカルの第1四半期連結会計期間における営業損失が(株)ジイズスタッフの営業利益を上回ったことから、営業損失1百万円(前四半期は営業利益16百万円)となっております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

連結子会社であった(株)エクスカルを当第2四半期連結会計期間の期首より持分法適用関連会社としております。これにより、(株)エクスカルの第1四半期連結会計期間末における資産183百万円、負債47百

万円及び少数株主持分68百万円が減少し、資産の部に関係会社株式64百万円が増加しております。なお、以下の区分毎の変動要因の金額には、(株)エクスカルの連結除外による影響額が含まれております。

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ257百万円減少し、1,959百万円となりました。主な要因は、仕掛品が76百万円、関係会社株式が64百万円増加した一方で、現金及び預金が270百万円、受取手形及び売掛金が47百万円、のれんが27百万円、未収入金が23百万円、短期貸付金が12百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ114百万円減少し、518百万円となりました。主な要因は、未払費用57百万円、前受金17百万円、未払法人税等10百万円、長期借入金が22百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ142百万円減少し、1,440百万円となりました。主な要因は、四半期純損失60百万円、配当金の支払9百万円、少数株主持分の減少73百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は851百万円となり、前連結会計年度末に比べ201百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

なお、(株)エクスカルを連結除外したことにより、現金及び現金同等物が57百万円減少しております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは118百万円の支出となりました。これは主に、資金の支出を伴わない費用であるのれん償却額27百万円等があった一方で、税金等調整前四半期純損失61百万円、棚卸資産の増加77百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは8百万円の収入となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5百万円、無形固定資産の取得による支出5百万円の一方で、貸付金の回収による収入14百万円、定期預金の預入・払戻による純額4百万円の収入があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは33百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済22百万円、配当金の支払9百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月3日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

平成24年10月26日開催の取締役会において、連結子会社の(株)エクスカルを、第2四半期連結会計期間の期首より持分法適用関連会社に変更する決議を行っておりますが、現在の受注状況を勘案した結果、業績予想の修正は行いません。なお、今後の事業環境の変化等により修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(工事進行基準の適用)

当第2四半期連結累計期間において、受注制作のソフトウェア開発プロジェクトのうち、当第2四半期連結累計期末迄の進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトが新たに発生したことから、当該プロジェクトについて工事進行基準を適用しております。

なお、これにより営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が3,840千円減少しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,232,719	961,784
受取手形及び売掛金	376,323	328,927
仕掛品	28,414	105,282
原材料及び貯蔵品	355	656
前払費用	16,736	14,221
短期貸付金	15,469	2,873
未収入金	24,823	1,812
繰延税金資産	7,744	9,013
その他	1,337	1,753
貸倒引当金	△2,260	△1,907
流動資産合計	1,701,664	1,424,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	225,380	225,980
減価償却累計額	△116,938	△120,133
建物及び構築物 (純額)	108,442	105,847
工具、器具及び備品	59,137	61,543
減価償却累計額	△47,543	△49,686
工具、器具及び備品 (純額)	11,593	11,857
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	188,872	186,540
無形固定資産		
のれん	212,576	184,693
ソフトウェア	43,627	43,008
電話加入権	1,481	1,335
無形固定資産合計	257,685	229,037
投資その他の資産		
投資有価証券	18,759	20,281
関係会社株式	—	64,942
敷金及び保証金	40,338	26,169
長期貸付金	9,808	8,360
その他	60	30
貸倒引当金	△9	△8
投資その他の資産合計	68,957	119,776
固定資産合計	515,515	535,355
資産合計	2,217,180	1,959,773

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	49,398	48,409
短期借入金	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000	45,000
預り金	25,019	22,759
未払金	72,325	66,237
未払費用	159,002	101,563
未払法人税等	17,820	6,863
賞与引当金	10,901	18,045
前受金	36,685	19,652
その他	1	1,243
流動負債合計	496,154	409,776
固定負債		
長期借入金	118,750	96,250
長期前受金	13,203	10,820
その他	5,198	1,972
固定負債合計	137,152	109,043
負債合計	633,307	518,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△308,438	△378,229
自己株式	△53,911	△53,911
株主資本合計	1,507,182	1,437,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,063	3,562
その他の包括利益累計額合計	3,063	3,562
少数株主持分	73,626	—
純資産合計	1,583,872	1,440,954
負債純資産合計	2,217,180	1,959,773



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,310,952	1,184,035
売上原価	960,284	812,203
売上総利益	350,668	371,832
販売費及び一般管理費	503,697	432,900
営業損失(△)	△153,029	△61,067
営業外収益		
受取利息及び配当金	676	531
保険配当金	2,893	3,089
助成金収入	8,246	207
その他	3,291	1,237
営業外収益合計	15,108	5,066
営業外費用		
支払利息	2,581	2,150
持分法による投資損失	—	3,134
その他	2	12
営業外費用合計	2,584	5,297
経常損失(△)	△140,505	△61,298
特別損失		
固定資産除却損	102	78
契約解除損失	300	—
特別損失合計	402	78
税金等調整前四半期純損失(△)	△140,908	△61,377
法人税、住民税及び事業税	5,515	3,839
法人税等調整額	362	423
法人税等合計	5,877	4,262
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△146,785	△65,640
少数株主利益	△2,127	△5,548
四半期純損失(△)	△144,658	△60,091

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△146,785	△65,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,130	498
その他の包括利益合計	△1,130	498
四半期包括利益	△147,916	△65,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△145,788	△59,592
少数株主に係る四半期包括利益	△2,127	△5,548

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△140,908	△61,377
減価償却費	12,341	14,232
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,132	△273
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,562	7,144
のれん償却額	27,882	27,882
受取利息及び受取配当金	△676	△531
支払利息	2,581	2,150
固定資産除却損	102	78
持分法による投資損益(△は益)	—	3,134
売上債権の増減額(△は増加)	141,699	14,209
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127,599	△77,169
仕入債務の増減額(△は減少)	920	△1,995
その他の資産の増減額(△は増加)	△7,211	19,776
その他の負債の増減額(△は減少)	△86,895	△49,962
小計	△172,332	△102,699
利息及び配当金の受取額	705	548
利息の支払額	△2,444	△2,280
法人税等の支払額	△9,441	△14,491
営業活動によるキャッシュ・フロー	△183,512	△118,922
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△59,000	△4,800
定期預金の払戻による収入	35,601	9,600
有形固定資産の取得による支出	△9,193	△5,084
無形固定資産の取得による支出	△8,881	△5,500
敷金及び保証金の差入による支出	△149	△54
敷金及び保証金の回収による収入	19,029	7
貸付金の回収による収入	2,726	14,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,866	8,212
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	20,000	60,000
短期借入金の返済による支出	△20,000	△60,000
長期借入金の返済による支出	△37,930	△22,500
配当金の支払額	△28,112	△9,244
リース債務の返済による支出	—	△1,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,042	△33,370
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△269,421	△144,080
現金及び現金同等物の期首残高	1,077,169	1,052,216
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△57,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	807,748	851,074

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,095,915	215,036	1,310,952	—	1,310,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,595	—	38,595	△38,595	—
計	1,134,510	215,036	1,349,547	△38,595	1,310,952
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△150,361	16,581	△133,780	△19,248	△153,029

(注) セグメント利益の調整額△19,248千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△19,349千円、その他の調整額101千円を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,049,334	134,700	1,184,035	—	1,184,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,733	—	46,733	△46,733	—
計	1,096,068	134,700	1,230,768	△46,733	1,184,035
セグメント損失(△)	△39,341	△1,528	△40,870	△20,197	△61,067

(注) セグメント利益の調整額△20,197千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△20,172千円、その他の調整額△24千円を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末において報告セグメントごとの利益又は損失の金額の算定方法を、のれん償却額を調整額に含める方法から、各報告セグメントに配分する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法により作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。